

令和7年度 大田区立北糀谷小学校 自己評価 報告書

令和8年2月16日

○ 本校の概要

○開校149周年を迎えた歴史のある学校である。学校規模は児童数299人(5月1日現在)、通常級は12学級で難聴・言語障害学級を併設している。学区外からの入学者が多く、2学級を保っている。  
 ○令和2年度より、キャリア教育を推進している。令和3年度、令和6年度は、大田区研究推進校キャリア教育モデル校として研究発表会を行った。また、令和4年度から継続して文科省国立教育研究所実践検証協力校としての役割を担っている。「主体的に取り組む児童の育成」を目指したキャリア教育の実践は、一昨年度、文部科学大臣表彰を受賞した。また、キャリア教育や学校行事の実践は、東京都を代表として、毎年のように全国大会で発表された。  
 ○学校の課題は「主体的に学びに取り組む力の育成」、「発達障がいや不登校など配慮を要する児童への対応」である。研究テーマを「主体的に取り組む児童の育成～キャリア教育の実践～」として、魅力ある教育活動を創出していく。今年度は、高学年と中学年で一部教科担任制を実施し、質の高い授業を目指す。通知表の評価は年間2回とし、児童の発意・発想を生かした取組「未来づくりフェスティバル」を実施する。配慮を要する児童への対応は、校内委員会を中心として関係機関と連携して組織的な対応に努めている。  
 ○地域や保護者は学校に大変協力的であり、地域の人材や環境を活用した様々な教育活動を展開している。〈言葉は「行きたい学校・帰りたい家庭・住みたい地域」〉昨年度よりコミュニティスクールとして、一層連携を深めている。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄		
								評価人数	コメント	
生予個 き測別 る困目 力難標 をな1 育未 成来し 社会 を創 造的 に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	児童アンケート「わたしは、ものづくりをしたり、プログラミングをしたりすることが好きです」の質問に対し「あてはまる」または「だいたいあてはまる」と回答した児童の割合が 4:90%以上	4: 90.3%	様々な教科でのキャリア教育の推進にむけて研究授業を行った。継続してより効果的なマネジメントを行えるようにしていく。	A	9	
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	保護者アンケート「学校は、キャリア教育やプログラミング教育など、未来社会に生きることもために必要な教育をしています」の質問に対し「あてはまる」または「だいたいあてはまる」と回答した保護者の割合が 4:90%以上	2: 90.3%	4	難聴・言語障害教育通級学級の自立活動においてもキャリア教育の視点を大切に指導を計画実践することができた。	B	3	
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。									
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。									
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。									
③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	4:90%以上	2: 90.3%	4	プログラミング的思考を育てる教育活動を取り入れられる単元を精選し指導計画に取り組んでいく。	C	0	
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。									
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。									
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。									
④特別活動を要しキャリア教育を推進し、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や実践力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	※2つの項目の平均を 成果評価とする	1: 70%未満	4	保護者アンケートでは94%が肯定的な意見だった。継続して、学校の取り組みを保護者や地域に発信していく。	D	0	
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。									
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。									
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。									
お世個 お界別 たと目 を標 担な2 うが 人 材 育 成 都 市 し ま す	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協働していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	児童アンケート「わたしは先生やALTと、外国語であいさつなどのコミュニケーションを取ろうとしています」の質問に対し、肯定的な回答は、昨年度より6ポイントも上がった。 授業のみではなく休み時間も活用するなどして、外国語指導講師との交流を充実させ、英語に苦手意識をもっている児童も楽しみながらコミュニケーションがとれるように工夫していく。	4: 81.3%	児童アンケートにより、専科と担任の連携を一層深めるように計画的に取り組んでいく。	A	9	
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	4:80%以上	2: 70%未満	4	総合的な学習の時間や大田区独自教科のおたの未来づくりなどの場を有効に活用し、学校全体で取り組んでいる。	B	3	
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。									
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。									
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。									
③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3:70%以上80%未満 2:60%以上70%未満 1:60%未満	1: 60%未満	4	6年生で行っているJALとの連携授業「世界とつながる北糀谷小学校」などを通して、日本文化のみならず、多国の文化や作品に触れる教育活動を推進し、これからのおたを担う人材を育成する。	C	0	
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。									
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。									
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。									
た一個 め人別 の目 基と標 礎り3 とが 個 る性 力と 能 育 力 成 を し 発 揮 す る	児童・生徒が豊かな人生を生き抜く上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	児童アンケート「わたしは授業の内容がよくわかります」の質問に対し「あてはまる」または「だいたいあてはまる」と回答した児童の割合が 4:90%以上	4: 92.5%	読書学習司書との連携により、学校全体として読書活動が充実してきた。これからも、読書学習司書・栄養士・養護教諭・中学校教諭等との連携を基盤に充実した教育活動を行っていく。	A	10	
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべての子どもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満	3: 90.3%	4	特に音楽などの実技教科では、学習の成果がすぐに見えないことも多々あるが、1年間を見据えて計画的に指導を行っていく。	B	2	
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。									
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。									
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。									
③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	保護者アンケート「学校は確かな学力をつけるために、わかりやすく指導しています」の質問に対し「あてはまる」または「だいたいあてはまる」と回答した保護者の割合が 4:90%以上	2: 90.3%	4	小中一貫教育の日には、中学校が児童にどのような力を身に付け卒業させてほしいのかや、中学校の現状などを聞き、充実した意見交換を行うようにする。小中教員の互いの見方・考え方を深めるための交流の場とし、日々の教育活動につなげていく。	C	0	
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。									
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。									
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。									
④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満	1: 70%未満	4	保護者アンケート「学校は確かな学力をつけるために、わかりやすく指導しています」の質問に対し、肯定的な回答は96%で、昨年度より4ポイント上がった。算数の習熟度別学習や3年生から一部教科担任制を行ったことで、よりわかりやすい授業になったのだと思う。	D	0	
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。									
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。									
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。									
⑤読書活動をキャリア教育に位置付けて推進し、豊かな心身の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	※2つの項目の平均を 成果評価とする	1: 70%未満	4	授業参観では、発表やグループ活動の場面が多かったので、今後は、各教科等の土台となる、基礎・基本となる学習に取り組んでいる姿や成果も発信し、保護者への理解や協力をさらに得られるようにしていく。	D	0	
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。									
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。									
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。									

学個別 校力 ・標 教 4 師力 を向 上さ せま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上させます。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	教職員アンケート「わたしは、本校でやりがいをもって働いています。」という質問に対し、「あてはまる」または「だいたいあてはまる」と回答した教職員の割合が 4:80%以上	4: 96.5%	主任教諭によるOJT研修がとて充実していて、教員間の高め合いがスムーズにできている。取り組みは、達成できている。  教職員アンケート「わたしは、本校でやりがいをもって働いています。」という質問に対して、100%の教員が達成できていると答えている。引き続き、働き方改革と高度な教育課程の編成に努め、教員の満足度の高い学校としていく。  教員と児童が会話をしたり交流したりする機会を増やし児童理解に努める。また、地域や企業に協力していただき、ウェルビーイングを高める取組を積極的に行っていく。  タイムシステムによる超過勤務の時間月平均30%以内の教員(管理職を除く)は、ほぼ100%であった。教員支援員やエデュケーションアシスタントの活用、会議の精選などによる成果と考える。	A 11	教師という職業がこれからも魅力ややりがいがあることを願い、地域として協力をしていきたい。  授業参観時、先生方の熱意が素晴らしいと思った。  教職員が連携し、組織的かつ継続的な支援体制が整えられている。  先生方の熱意ある心意気が本当に素晴らしいです。
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特徴を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	3:70%以上80%未満 2:60%以上70%未満 1:60%未満  タイムシステムによる超過時間が1か月平均30時間以内の教員の割合が	3: 4			
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。	3	4:75%以上 3:60%以上75%未満 2:50%以上60%未満 1:50%未満  ※2つの項目の平均を成果評価とする	2: 1:			
						1:			
た自個 め分 別の 目学 し標 びを い支 き援 いし まと す生 きる	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整え、相談機能の充実を図ること、すべての児童・生徒が自分らしいいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	児童アンケート「わたしは学校で安心して過ごしています」の質問に対し「あてはまる」または「だいたいあてはまる」と回答した児童の割合が 4:90%以上	4: 94%	週1回のスクール・カウンセラー勤務ではいろいろな相談事に対応していくことは難しいと感じる。回数を増やすとともに支援体制を整えていくことも大切だと感じる。  保健室登校や別室登校等、充実させようとしていることが素晴らしいと思った。  児童の実態に応じた支援が校内外の連携により継続的に行われている。	A 11	
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。	4	3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満  保護者アンケート「子どもは、学校で安心して生活しています」の質問に対し「あてはまる」または「だいたいあてはまる」と回答した保護者の割合が	3: 4			
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満  ※2つの項目の平均を成果評価とする	2: 1:			
						1:			
安柔個 心軟別 なで 目教 育創 造6 環的 境な を学 習空 間ま とす 安全	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	保護者アンケート「学校は、子どもに安全指導を行い、学校の安全体制もできています」という質問に対し、「あてはまる」または「だいたいあてはまる」と回答した保護者の割合が	4: 97.9%	児童の安全・安心を第一に、学習環境の整備、安全教育共に行うことができている。  児童の実態をふまえて、ICTサポーターと情報を共有しながら、ICT環境の整備を進めていく。  開門時は用務員が門の警備をするなど、児童の安全を守るために連携の強化を行った。その効果もあり、保護者アンケートでは、「学校は、子どもに安全指導を行い、学校の安全体制もできています」という質問に対し昨年度より10ポイント上がり98%となった。	A 11	
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満	3: 2: 1:			
学地学 校校 別を コ・ ミ家 庭7 リニ ・マ テ地 域の 核連 と携 し・ 協働 によ る	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	保護者アンケート「学校は、地域・社会の教育力を子どもたちの教育活動(授業や夏のわくわくスクール等)に生かしています」という質問に対し、「あてはまる」または「だいたいあてはまる」と回答した保護者の割合が	4: 95.7%	あいさつの大切さを生活指導部中心に発信し、職員全体で共通理解のもと挨拶指導を行っていく。  すべての項目についてよくできていると思う。  道徳授業地区公開講座やセーフティー教室など保護者に参加してもらえようというtetonuや掲示板等を活用して情報の提供を行っていく。また、保護者が参加してみたくなる企画を検討していく。  保護者アンケート「学校は、地域・社会の教育力を子どもたちの教育活動に生かしている」の肯定的な回答は、昨年度より4%減ったが、95%の保護者が肯定的な回答をしている。外部の方を招いた授業などは情報を発信し、周知していく必要がある。	A 10	
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満	3: 4			
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満	2: 1:			

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す